■ FAO MAP

世界の主な河川流域における物理的な水不足の分布

Global Distribution of Physical Water Scaresity by Major River Basin

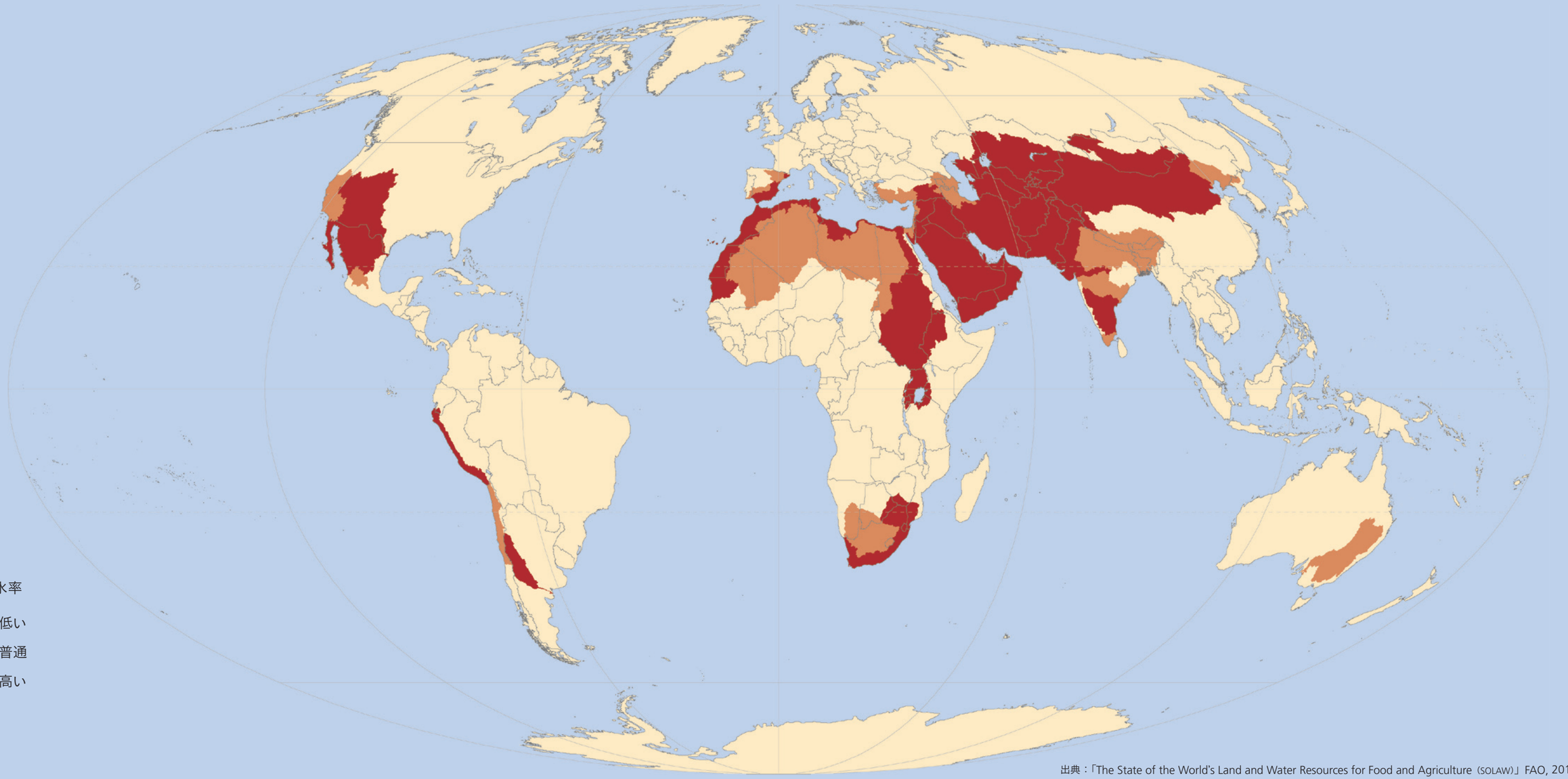
地球規模の水循環により、再生可能な水資源は年間4万2,000km³と算定されています。このうち河川や地下水などから3,900km³（約9%）が取水され、70%がかんがい、19%が工業用、11%が水道用に利用されています。すべての取水量の60%以上がそれぞれの水循環系のなかで河川や地下水に還元され、残りは蒸発散量と推定されています。

世界では人口の4割が国境をまたいだ国際河川の流域で暮らしており、これら263の流域は、世界の面積の50%、淡水資源の40%を占めています。

世界の平均取水率は平均9%と小さい値ですが、地域によって大きな差があります。取水率が再生可能な水資源の20%を超えると水資源に圧力がかかり、40%を超えると「危機的」な状態となります。中東、北アフリカ、中央アジアでは、危機的なレベルをすでに超えている国々があります。

今後ますます増加する食料需要を満たしていくには、かんがいの効率化をはじめとする持続的な農法の普及に加え、関連の政策・制度の改善、さらにこれらを可能とする農業投資の増大が必要です。

関連ウェブサイト
FAO SOLAW：www.fao.org/nr/solaw



出典：「The State of the World's Land and Water Resources for Food and Agriculture（SOLAW）」FAO, 2012